

中小企業あきた

- 1 日本銀行秋田支店の吉濱支店長と意見交換を行う 1
2 (公財)産業雇用安定センター太田理事長より感謝状を授与 2
3 大館市で秋田県総合防災訓練が開催 2
～地域の組合が共同参加～
4 上野台堆肥生産協同組合が国土交通大臣賞を受賞！ 3

○中小企業組合等支援施策情報 3
○景況レポート 8月分 4
○組合相談コーナー 6

○話題の広場
中央会事業より 6
支援団体活動レポート 9
インフォメーション 10
中央会職員コラム 10

10
OCTOBER.2017



TOPICS **1** ■ SPECIAL FEATURES

日本銀行秋田支店の吉濱支店長と意見交換を行う



[懇談の様子(中央：藤澤会長／右奥：吉濱支店長)]

8月29日(火)、日本銀行秋田支店の吉濱久悦支店長が来所し、本会から県内中小企業の経営状況等について説明した後、藤澤会長ならびに伊藤専務理事と懇談を行いました。

■県内中小企業の経営状況

県内中小企業の売上・収益動向は二極化している。中小・小規模企業が回復するためには、市場の動向を見極めて、得意分野を活かした企業連携による販路拡大等が必要である。

■県内中小企業の生産性向上と課題について

ものづくり補助金による設備投資で生産性向上や新商品・サービスの事業化が着々と成果を上げている企業が多いものの、約1/4の企業が事業化できていないことが課題として挙げられる。こうした企業に対するフォローアップ支援を行うことで事業化の推進、課題解決を図る必要がある。

■県内中小企業の雇用・賃金動向

有効求人倍率が1.37倍となるなど売り手市場のなか、建設業や介護事業者等で計画通りに雇用できない状況にある。中小・小規模事業者にとって雇用するために賃金を上げたいが、

新入社員のみを上げることは社員間の賃金バランスが崩れるため、難しい状況にある。組合が高校へ訪問し、業界の説明を行う等の活動を継続しながら、人材の確保を進めるとともに経営改善を図りながら、売上・収益の改善を図ることが重要である。

懇談では、吉濱支店長から「人口減少により、働き手不足、県内市場が縮小するなか、中小企業においても経営効率化や積極的に県外需要を獲得していく必要がある。そのためには、企業間連携などを通じて、労働生産性を向上させて地域全体の競争力を高めていくことが重要である。」といった発言があり、藤澤会長は、「中小・小規模企業は、何処の市場で売上を確保するかで二極化している。県外・海外を主な市場とする企業は、景気が回復しているものの、県内を主な市場とする企業は、少子高齢化に伴う市場縮小により景気は厳しい状況にある。」との見解を示しました。

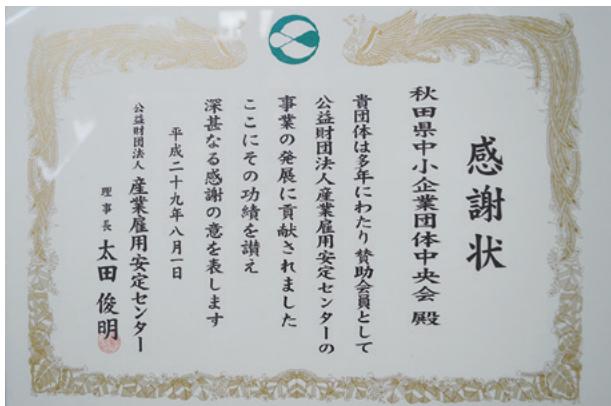
日本銀行秋田支店とは今後も意見交換の場を設けることにより、県内中小企業の動向認識を共有していくこととしています。

(公財)産業雇用安定センター 太田理事長より感謝状を授与

9月1日(金)、公益財団法人産業雇用安定センター(東京都)の太田俊明理事長が本会を訪れ、県内雇用環境の改善に向けた同センター設立以来30年間の協力に対する謝辞を述べるとともに、感謝状を授与しました。



[太田理事長(左)／伊藤専務理事(右)]



[感謝状]

同センターは、産業構造の変化、国際化の進展等に伴う労働力需給の変化に対応した労働力の産業間、企業間移動の円滑化に寄与するため、事業主等に対して、出向・移籍による失業なき労働移動に関する情報提供・相談・あっせん等を行っています。平成28年度からは、60～65歳を対象に、キャリア・能力・就職希望等の情報を収集・登録し、66歳以降も働くことを希望する退職予定者と企業をマッチングする「キャリア人材バンク事業」を実施しています。

キャリア人材バンクに関する情報は同センターHPからもご覧頂けます。

ご相談・お問い合わせにつきましては、同センター秋田事務所までお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ先>

公益財団法人産業雇用安定センター
秋田事務所
〒010-0951
秋田市山王3-1-7 東カンビル4階
☎018-823-7024

大館市で秋田県総合防災訓練が開催 ～地域の組合が共同参加～

9月3日(日)、大館市全域において総合防災訓練が行われ、会員組合からは、秋田県葬祭業協同組合(遺体安置所開設運営訓練)、大館管工事業協同組合(インフラ復旧訓練(上水道))、北鹿電気工事業協同組合(インフラ復旧訓練(電気))が参加しました。

本訓練は、大館市釧内を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、建物が倒壊した想定のもと、午前9時より一斉に開始され、避難所開設や復旧作業など、非常時の対応を確認しました。

タクミアリーナを会場とした遺体安置所開設訓練では、遺体が搬送されてからの受付、身元確認、死亡届と火葬許可証の発行、納棺までの一連について行われ、訓練に参加した秋田県葬祭業協同組合の半田理事長は「あってはならないことであるが、万が一の場合は遺族の気持ちに添った対応が求められ、遺体の引き渡しに關してもしっかりと対応していきたい。今後も

積極的に訓練に参加することで、非常時にいつでも対応できる体制を整えなければならない。」と話しました。

当組合は、秋田県との間で「災害時における棺及び葬祭用品の供給等の協力に関する協定」を平成26年10月に締結しており、今後も秋田県と連絡調整を行いながら、緊急災害時における心のケアも含めた総合的な支援体制を整備・維持していくことにしています。



[納棺(訓練)の様子]

上野台堆肥生産協同組合が 国土交通大臣賞を受賞！

国土交通省では、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する「循環のみち下水道」につながる優れた取組を「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」として表彰しており、上野台堆肥生産協同組合(山岡緑三郎理事長)が『产学官で創る食の地域ブランド！広がるじゅんかん育ち』のテーマで今年度受賞を果たしました。

9月12日(火)、山岡理事長と山岡専務理事が本会へ来所し、このたびの受賞報告とその取組内容について本会伊藤専務理事と懇談しました。

上野台堆肥生産協同組合では、秋田県から下水処理場で発生する下水汚泥を譲り受け、その下水汚泥から肥料を生産し、地域の農家へ提供しています。下水汚泥肥料で育てた下水道発食材「じゅんかん育ち」は、清酒や漬物といった「地域ブランド食品」へと姿を変え、消費者に届けられています。

下水汚泥を発酵して生産した肥料は、“秋田で生まれたコンポスト(肥料)”という意味で

「アキポスト」と名付けられ、作物の栽培に必要な窒素・リンなどがバランス良く配合されていることから、アキポストで育てた「じゅんかん育ち」は生育が良好で、「食味が良くなった」等、生産者や消費者から好評を得ています。

組合では、これからも秋田県の農業を下支えするアキポストの生産を実践していくこととしており、下水汚泥の利活用による農産物の品質と市場価値の向上に向けた今後の取組が期待されます。



[山岡専務理事(左)／山岡理事長(右)]

中小企業組合等支援施策情報

大雨被害に対する金融支援制度のご紹介

7月22日からの大雨被害に関する金融支援情報を掲載しましたのでご覧下さい。

1. 中小企業災害復旧資金(7月22日からの大雨災害復旧特別融資)

融資対象者	秋田県信用保証協会の保証を受けられる秋田県内の中小企業者で、7月22日からの大雨による被害を受けられた方
取扱期間	平成29年8月1日～12月28日
融資限度額	3,000万円
融資利率	年1.20%
保証料率	年0%
資金使途	運転資金、設備資金(直接的な被害に加え、間接的被害も対象)
貸付期間	10年(うち据置期間2年以内)
問い合わせ先	秋田県産業労働部 産業政策課 ☎018-860-2215 秋田県信用保証協会 経営支援部 経営支援課 ☎018-863-9015

2. セーフティネット保証4号の適用

指定地域(大仙市、秋田市、横手市)において1年以上事業を行い、売上高等の減少が見込まれる方についてはセーフティネット4号が適用され、信用保証協会の保証限度額が別枠化されます。

対象者	(1)指定地域において1年間以上継続して事業を行っていること (2)平成29年7月22日からの大雨に起因して、当該災害の影響を受けた後、原則として最近1か月の売上高等が前年同月に比して20%以上減少しており、かつ、その後2か月を含む3か月間の売上高等が前年同期に比して20%以上減少することが見込まれること。(売上高等の減少について、市の認定が必要)
取扱期間	平成29年7月22日～11月21日
保証限度額	2億8,000万円(一般保証とは別枠となります)
資金使途	経営の安定に必要な運転資金及び設備資金
融資利率・保証料率・貸付期間	※利用制度により異なります。詳しくは信用保証協会へお問い合わせください。
問い合わせ先	秋田県信用保証協会 経営支援部 経営支援課 ☎018-863-9015

景況レポート

(8月分・情報連絡員80名)

業況の悪化割合が減少

【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%（前回調査8.8%）、「悪化」が28.8%（同37.5%）で、業界全体のDI値は-20.0となり、前月調査と比較し8.7ポイント上回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、非製造業では全国及び東北・北海道ブロックを上回ったものの、製造業が低調であったことから、全体のDI値は全国及び東北・北海道ブロックを下回り、低調に推移した。

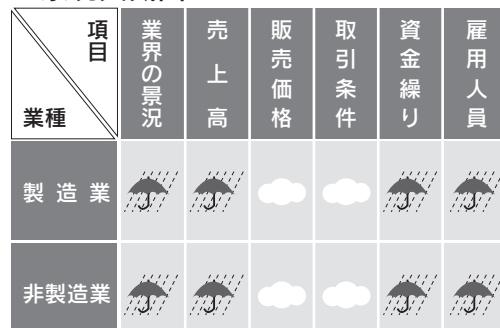
【業界別の状況】

業界別では、鉄鋼業で好転割合が増加し、商店街、サービス業を始めとした他業種で業況の悪化割合が減少したため景況感が好転した。なお、全体の景況感は、大雨被害や天候不順による物価高騰や需給不調が夏物需要を大幅に減退させていることに加えて、原材料や人件費等の経営コスト上昇も進展していることから、利益率の低迷と供給力の減退が一層逼迫している。

＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-20.0	-16.7	-18.9
製 造 業	-25.0	-15.9	-19.4
非製造業	-16.7	-17.3	-18.6

＜景況天気図＞



【凡例】
快晴 30以上
晴れ 10以上
△30未満
くもり △10以上
△10未満
雨 △30超
△30未満
雷雨 △30以下

【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品（パン） 天候不順（気温、雨）のため、売上は不振であった。油脂関係の原料価格の値上がりが心配されている。

食料品（菓子） お盆の帰省や祭りなどで人の動きはあったが、お土産品などの動きも客単価が下がり、全体的に良くなかった。

食料品（清酒） 清酒出荷量は1,228,056ℓで、前年同月比86.5%と前年を下回った。また、タイプ別では吟醸酒が前年同月比101.1%であったが、純米酒、本醸造、レギュラー酒については前年同月を下回った。

食料品（米飯給食） 8月の売上は、コンビニエンスストア部門が厳しいものの、大手スーパー・チェーン、特注弁当、宅配弁当、学校給食部門では前年同月比を上回り102.2%であった。収益状況については海苔・米等の原材料上昇に加え、光熱費の増加により減益の見込みである。

織維工業（二ツト） 秋冬物生産の最盛期でキャパシティは埋まっている。先月に引き続き加工賃は厳しい。

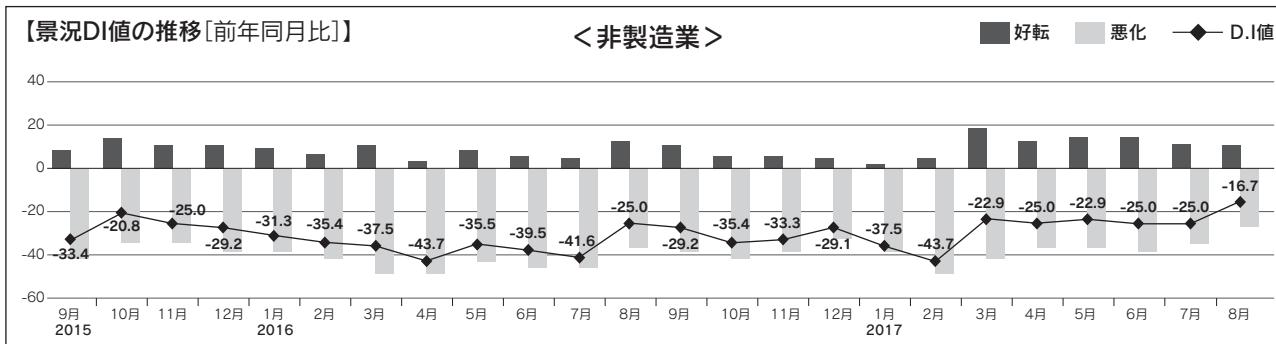
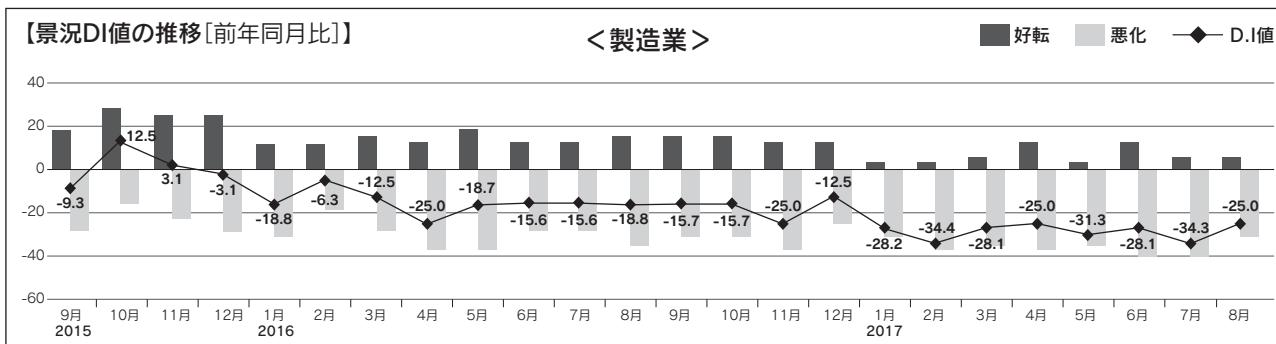
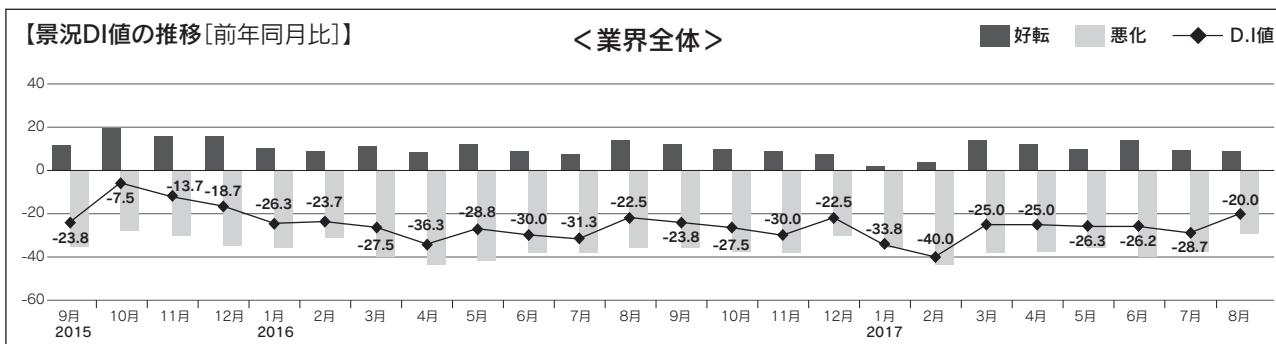
織維工業（織維） 受注状況は少し上向いてはいるが、前年度との比較では厳しい状況にある。加工賃についても厳しい状況が続いている。

木材・木製品（一般製材） 4月から8月の製品販売量は前年比増加（106%）しているが、販売価格は据え置きとなり、収益面は好転していない。

木材・木製品（外材） 秋田港にカナダ産針葉樹5,283m³の入港があった。減少が危惧された住宅着工についてには、低金利による個人住宅や相続税対策の賃貸住宅建築が依然堅調なこともあります。高水準を維持しており、合板メーカーは増産体制を継続している。

窯業・土石製品（生コンクリート） 8月の出荷数量は、前年比107%台、4月～8月累計で96.0%と予想される。8月は前年を上回ると思われるが、各地区とも9月以降は大型物件もなく全く不透明の状況にある。

鉄鋼・金属（鉄鋼） 7月頃より官民共に物件がかなり出てきており、各社共に100%以上の稼働で推移している状況で、受注物件も年内確保している所が多く、暫くはこの状況で推移していくものと考えられる。



【業界の声】～非製造業～

(回答数：48名 回答率：100%)

- 卸売業(青果)** 8月の売上は、前年同月比95.1%で推移した。東日本を中心に天候不順により日照不足で生育が遅れ、出荷量が減り夏野菜の卸値が上昇している。県内のスイカ、メロンの出荷量も前年比3割減となっている。
- 卸売業(米麦卸)** 平成29年度産米の収穫の準備に当り、関東圏の生産者仮渡金単価のレベルが高く、これから決められる秋田県の仮渡金単価の動向が気がありである。
- 小売業(自動車)** 8月の新車販売台数は、登録自動車が1,946台(前年同月比108.5%)、軽自動車が1,486台(同108.2%)で、合計3,432台(同108.4%)であった。軽自動車は5ヶ月連続して前年同月を上回った。
- 商店街** 食料品、身の回り品については前年並みの売上げ、家電販売についてはクーラーが売れたことで前年比増となった。(秋田市)
中心商店街でイベントが行われ活気があった。飲食店や小売店では店頭に出した屋台で売上増を図り、通常月よりは売上が増加した。(湯沢市)
- サービス業(タクシー)** 乗務員の減少に加え、平均年齢は62.4歳となっており、業界での新規応募者も少なく少子高齢化現象となっている。
- 建設業(管工事)** 7月、8月の大雨による災害復旧のため、特に土木工事に工期延長が必要な事例が発生しており、労働者不足も深刻な状況となっている。(中央地区)
- 建設業(電気工事)** 盆明けに工場やマンションなど大きな建物の新築があり、低迷していた今年度の物件に動きが出てきている。この傾向は多少続くものと期待しているが、一般住宅は動きが悪い。(中央地区)
- 運輸業(トラック)** 8月の輸送貨物は増加傾向であるが、例年の繁忙期とまではいっていない模様。売上は前月、前年同月よりも増加している。収益についても前月、前年同月ともに多少増加している。今月以降は、米の収穫期に入るので期待できるのではないか。(県南地区)
- その他の非製造業(砂利採取)** 生コン用骨材の出荷量は昨年と同程度であるが、リサイクル材の出荷が若干増加した。(県南地区)

組合相談コーナー 賛助会員制度の導入について

[Q] 当組合では、関連企業との協力体制と組織強化を図るために賛助会員制を取り入れたいと考えていますが、どのような手続きを行えばよろしいでしょうか？

[A] 賛助会員制度を導入するためには定款の条文の追加が必要となります。このほか、以下の要領に従って規約を作成し、詳細の定めをしておく必要があります。

(1)賛助会員の資格

賛助会員の資格は、それぞれの組合の実情に応じて定めることになります。ただし、賛助会員は法に定める組合員には該当しないことに留意してください。

(2)賛助会員に対する事業

賛助会員に対する利便の供与等の事業活動についても、組合の実情に応じて行わなければなりませんが、あくまでも制度の趣旨を逸脱しない範囲で検討する必要があります。例えば、組合が作成または発行する資料・情報提供、組合・組合員との情報交換や、このために開催される懇談会等がこれに該当します。なお、賛助会員が定款で定めた組合事業を利用する場合には、員外利用に該当するので注意が必要です。

(3)賛助会員の加入・脱退

賛助会員の加入、脱退は任意とし、加入の諾否は理事会で決定します。また加入にあたっては入会金を徴収しても差し支えありません。なお、脱退については、あらかじめ組合に届けるものとします。

(4)会費の徴収

会費を徴収する場合は、その徴収額、徴収基準等については組合の実情に応じて適宜定めていきます。会費の徴収については平等、差等、併用といった区分を明確にし、差等については会員の規模等を基準として検討する必要があります。

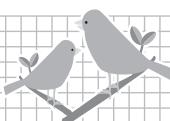
(5)その他

賛助会員の除名に関する規定や突発的に発生する諸問題については、ただちに理事会で対処可能な定めが必要となります。

以上のような点に留意しつつ、定款変更を行うことになります。

定款変更や規約の制定等については、本会へご遠慮なくご相談ください。

話題の広場



中央会事業より

強化された車両制限令違反措置について学ぶ ～組合活力向上事業(秋田県物流センター協同組合)～

9月5日(火)、秋田市のルポールみずほにおいて秋田県物流センター協同組合(齊藤正敏理事長)を対象とした組合活力向上事業を開催しました。研修会では、東日本高速道路株式会社東北支社より講師を招き、平成29年4月1日より強化された車両制限令違反者に対する大口・多頻度割引停止措置等の見直し内容について情報収集を行いました。

高速道路上での法令違反車両の取り締まりが強化されることにより一層法令を遵守した通行が求められることから、本研修会の開催にあたり、高速道路料金別納事業を実施する会員組合へ参加の呼びかけを行い、延6組合43名が参加しました。



[研修会の様子]

今回、見直しとなった従来との主な違いは、(1)車両制限令の違反により付加される違反点数の累積期間が3ヶ月から「2年間」に変更(2)組合員の累積違反点数が60点を越えると大口・多頻度割引の一部割引停止措置の実施(3)該当組合員が違反を繰り返すと組合全体に割引停止措置等の影響が発生であり、組合事業が滞りなく実施されるためには組合員が車両制限令違反とならぬよう、より一層の周知徹底が求められます。

組合では、今後も道路法を含め、コンプライアンスの遵守と円滑な事業運営のため組合員との情報共有を徹底しながら、安心・安全な運送を目指すこととしています。



[講師：神田課長代理]

介護事業所の防災意識が高まる

～介護事業者防災対策懇談会～

東日本大震災以降、各事業所等における防災対策やBCP策定等の必要性が強まるなか、昨年の台風10号では、岩手県で老人ホームが被災し利用者が亡くなる事故が発生するなど、介護事業所においても、防災対策及び利用者の安全を確保するための対策が喫緊の課題となっています。

そこで、介護事業を行う組合等を対象に9月12日(火)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて防災対策に関する懇談会を開催しました。

講師の医療法人勝久会陸前高田施設(岩手県)の入澤美紀子看護部長からは、東日本大震災時の高齢者介護施設での壮絶な体験や、震災後の災害対策への様々な取組について紹介され、特に、災害発生時に行うべきことを担当者別に示した『アクションカード』の活用については、参加者から高い関心を集めました。



[講師：入澤看護部長]

各事業所の取組に関する懇談では、参加した大館ケアサポート企業組合の宮崎理事長より、「東日本大震災の体験を教訓に、新設したショートステイの施設はオール電化とし、非常用の発電機を設置した。これまでの経験をもとに1つ1つ、災害対策の課題を解決していく最中であり、今後も本日の話を参考にしながら改善していきたい。」との話があるなど、災害対策に関する高い意識が伺えました。

次回は、災害発生時に効率良く緊急対応を行うためのアクションカードについて研修する予定であり、各事業所の防災対策の取組がさらに進展することが期待されます。



[懇談の様子]

秋晴れの下、自慢の腕を競い合う

～第21回中小企業団体ゴルフ大会～

9月22日(金)、秋田市の秋田カントリー倶楽部において、第21回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。

本大会は、本会会員ならびに関係機関相互の交流促進を目的に毎年開催しており、今年も多くの会員組合及び企業の皆様より協賛を頂きました。

当日は秋晴れの下、県内各地から参加した40名が自慢の腕を競い合い、男鹿南秋生コンクリート協同組合の森田真澄理事長が、ネット71.2で前回大会に続いて2連覇を果たしました。プレー終了後の表彰式では、参加者同士がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。

[大会結果]

- | | |
|------|-------------------------------|
| 優 勝 | 森田 真澄 氏
(男鹿南秋生コンクリート協同組合) |
| 準優勝 | 藤澤 正義 会長
(秋田県中小企業団体中央会) |
| 第3位 | 佐賀 晴樹 氏
(秋田県物流センター協同組合) |
| B G賞 | 藤澤 正義 会長 80
(秋田県中小企業団体中央会) |



[プレーの様子]



[藤澤会長(左)／優勝した森田理事長(右)]

トータルサポートアドバイザー事業を活用しませんか

本会では、組合及び組合員企業の抱える経営課題の解決に向けた「トータルサポートアドバイザー事業」を実施しております。

昨年度は、1組合、5企業が本事業を活用(下記参照)し、経営革新計画や経営力向上計画の承認を受けております。今年度も事業者を募集しておりますので是非ご活用ください。

■高茂合名会社(湯沢市)

<テーマ：経営革新計画策定について>

創業150年続く歴史を活かした工場見学等の体験型サービスを構想していたことから、従業員とのビジョンを共有するため経営革新計画の策定へ取り組みました。

(平成28年7月29日秋田県知事承認)



[支援の様子(高茂合名会社)]

■株式会社センカ(秋田市)

<テーマ：経営力向上計画策定について>

高度化する自動車搭載システムに整備対応するため、最新装置の導入や人材育成を行うことを念頭にした経営力強化向上計画の策定に取り組みました。

(平成29年1月30日東北運輸局認定)



[支援の様子(株式会社センカ)]

■株式会社アイ・クリエイト(横手市)

<テーマ：経営力向上計画策定について>

新規事業を核とした事業規模維持、経営力向上を図るため、経営力向上計画の申請に向けた支援と、育成型人事評価制度の確立に向けたアドバイスを行いました。

(平成29年2月28日東北経済産業局認定)

■株式会社八幡平貨物(鹿角市)

<テーマ：経営力向上計画策定について>

今後の需要増が期待できるバイオマス発電分野への原材料供給力強化等を目的に、倒れ木から枝払いまで一貫してこなす新鋭機の導入を検討しており、固定資産税軽減等の支援を受けるため経営力向上計画の策定に取り組みました。

(平成29年3月23日東北運輸局認定)

■株式会社雄勝野きむらや(湯沢市)

<テーマ：経営計画策定に向けて>

漬物の品質維持・向上、包装機等の設備投資による製品のブラッシュアップと工程の改善及び人材育成に取り組むため、経営計画の策定に取り組みました。

■臨海食品協業組合(秋田市)

<テーマ：経営課題の抽出、整理に向けて>

経営環境の変化を踏まえた経営計画の策定及び業務推進基盤の確立を図るため、経営改善に向けた課題の整理と中長期的な取組事項の明確化に取り組みました。

■ 本会「トータルサポートアドバイザー事業」をご活用下さい！

経営上の課題解決を図るため、本会ネットワークを活用した専門家派遣による支援を行います。

[支援対象]

本会会員組合または会員組合の組合員企業等

[補助率]

10/10

[実施回数] 1回～必要に応じて

[支援内容]

経営革新計画を策定したい

農商工連携や地域資源活用に係る事業計画を策定したい

事業承継計画における経営改善を図りたい など

[問い合わせ先]

本会事業振興部(☎018-863-8701)

いぶりがっこブランド化に向けた事業計画が承認

～秋田県いぶりがっこ振興協議会～

9月4日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において秋田県いぶりがっこ振興協議会(草彅作博会長)の通常総会が開催されました。

当協議会は、秋田県のいぶりがっこ品質向上及び技術の研鑽等を図りながら、秋田の漬物としてブランド化を目指し、今年1月に秋田県漬物協同組合、秋田いぶりがっこ協同組合、横手市いぶりがっこ活性化協議会の3団体で発足、本会が事務局を担っております。

総会では、29年度事業計画としてホームページ作成やいぶりがっこ製造標準マニュアル策定のほか、品質向上及び技術に関する研修会の実施について満場一致で承認されました。

「いぶりがっこ」の地理的表示保護制度(GI)については、9月14日付けで登録申請を済ませており、登録後の管理・運用についても当協議会が主体となりしていく予定です。



[総会の様子]

秋田市民の台所「市民市場」における店舗経営を学ぶ

～あきたレディース中央会～

9月27日(水)、秋田市の協同組合秋田市民市場「会議室」において、あきたレディース中央会(藤原恵美子会長)の研修会が開催され、会員等14名が参加しました。

今回の研修では、市民市場内で青果販売を行っている、あいば商店の相場百恵氏より「市民市場を支える若手女性の取組」というテーマで講演いただきました。

講演では、「対面販売を市場の強みとして、見分け方や調理方法を伝え、一人ひとりに気配りを欠かさずに商売することを心掛けている。」等、日々の商売の中で気付いた女性目線の体験

談は、参加者にとって良い刺激となりました。

また、研修会終了後、お店とのやりとりを楽しみながら、食材を自由に買い回りして完成させる「市場丼」を体験し、出来上がった自分好みの市場丼を堪能しました。



[研修会の様子]

交流親睦事業が開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

9月8日(金)、秋田市のブルックリンストライクにおいて、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)が主催する『交流親睦事業(ボウリング大会)』が開催されました。

会員同士の交流・連携を深め、加入促進を図ることを目的に今年が5回目の開催となる大会に、組合事務局等から18名が参加し、6チームに分かれ白熱したゲームを繰り広げました。

大会終了後は会場を移して懇親会が開催され、成績発表と表彰式は大いに盛り上りました。

当協議会では、このほか、普段交流する機会の少ない女性役職員同士の資質向上や交流を図る機会を創出することを目的にした「組合女性役職員セミナー」を開催する予定です。

活動に興味がある方は、事務局である本会商業振興課(☎018-863-8701)までお気軽にお問い合わせください。



[大会に参加された皆さん]

【大会成績】

(敬称略)

(個人優勝)

秋田県中小企業団体中央会

山本繁広

(団体優勝)

秋田管工事業協同組合

佐藤弘幸

株式会社商工組合中央金庫

井坂光希

秋田県中小企業団体中央会

稻葉 健



インフォメーション

人事異動のお知らせ

【秋田県中小企業団体中央会】(9月1日付)

()は前職

◎事業振興部

○商業振興課主事 嶋田 貴裕
(総務企画部総務企画課主事)

○工業振興課主事 花岡 勇斗
(事業振興部商業振興課主事)

秋田県最低賃金が改定されました (秋田労働局賃金室)

平成29年10月1日から、22円引き上げられ、時間額「738円」となります。

- ※ 最低賃金は、臨時、パート、アルバイト等、県内のすべての労働者に適用され、最低賃金額以上の賃金を支払わないと、最低賃金法違反となります。
- ※ 賃金は、精皆勤手当、家族手当、通勤手当、時間外手当、賞与等を除いた額が最低賃金額以上でなければなりません。
- ※ 月給や日給の場合、時間額に換算したものが最低賃金額以上でなければなりません。

詳しくは秋田労働局賃金室(☎018-883-4266)または最寄りの労働基準監督署までご照会ください。

10月における年次有給休暇の取得促進について (秋田労働局)

仕事は計画を立てて行うもの。それでは休暇は?

「仕事休もっ化計画」

10月は年次有給休暇取得推進期間です!

秋田労働局雇用環境・均等室では、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現のため、年次有給休暇の取得促進を進めています。

働き方・休み方を変える第一歩として、労使協調のもと、土日に年次有給休暇をプラスして連続休暇を実現する「プラスワン休暇」を実施しましょう。

<お問い合わせ先>

年次有給休暇の取得促進について:

秋田労働局雇用環境・均等室
(☎018-862-6684)

年次有給休暇の制度について:各労働基準監督署

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

工業振興課の佐々木です。中央会に入職してから3年3ヶ月間、商業振興課に所属しておりました。本年度より工業振興課に配属され、商業とは違う業種で分からることばかりですが、日々勉強しながら皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

自己紹介になりますが、私は中学からバーボールを始め、現在も社会人チーム「VC秋田」に所属しプレーを続けております。身長が192cmあり、私が会員組合や理事長へ訪問すると、ほとんどの方から「身長高いね、バスケかバレーやってた?」と聞かれます。10月のえひめ国体には秋田県成年男子代表として出場してきますので、初戦突破を目指して頑張ります。

バーボールの一番の面白さは、協力してボールを繋ぐことだと思います。1人のミスを他のメンバーでフォローし、一生懸命にボールを繋いで1点を取ることは、観る人に感動を与えることができることだと思います。

私のポジションはセンター(今はミドルブロッカーと呼びます)で、レシーブはほとんど

せず、クイック攻撃とブロックを中心にプレーします。センター目線でバレーを観戦するポイントは、相手セッターとの駆け引きです。トスをどのアタッカーに上げるかは、サーブカット(レセプション)がセッターに返るか、どの選手の調子が良いか等の様々な状況の中で、一瞬で判断することが求められます。時には、勝負をかけて一人の選手をマークしブロックを仕掛けることもあります。ブロックは、スパイクを止めて点数を決めるだけでなく、ワンタッチをしてレシーブを繋ぎ、自陣の攻撃へ繋げるという役目もあります。センターのブロックがどのように動いているかも一つのポイントとして、観戦していただければと思います。

バーボールで培ったチームワークを大切にする精神をもって、日々の業務に取り組みながら、会員組合や組合員企業の皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願いします。



[記 工業振興課 主事 佐々木貴寛]

官公需適格組合

『カ デル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本多秀文
副理事長 松木文雄
〃 太田博之

秋田市山王臨海町3番18号
018(862)6161/FAX 018(824)5685



SOMPO | 保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜



PORTRABLE
SMILING ROAD

いつもの運転をおトクで安全に!
楽しく安全に運転できるカーナビアプリ



iPhone はこちら
App Store
からダウンロード



Android はこちら
ANDROID APP ON
Google Play

どなたでも
無料!

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 秋田支店

〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15
Tel:018-862-8421 http://www.sjnk.co.jp/

支社・営業所:秋田・大館・能代・由利本庄・大仙・横手・湯沢

株式会社

八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12
TEL 0186-34-2011
FAX 0186-34-2013

全国中小企業団体中央会 会員の皆様へ
日本商工会議所 会員の皆様へ

業務災害補償制度



AKITA HOKEN



JUSE
REGISTERED FIRM
ISO 9001
JUSE-RA-2015
対象業務:損害保険代理業務・生命保険代理業務



秋田本社

018-864-6921

〒010-0951 秋田市山王6丁目5-9
FAX: 018-864-6922

URL <http://www.akitahoken.co.jp>

株式会社 アキタ保険

フレスピ本荘店

0184-24-5511

〒015-0011 由利本荘市石脇字田頭141-1
FAX: 0184-24-5512 SJNK16-19954 (2017.3.15作成)

保険とリース、相続・事業承継のご相談はお気軽にどうぞ!!



保険&
リース

株式会社

北日本ベストサポート

URL <http://www.knbs.jp>

本社 〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

県南営業部 TEL.0187-66-3622 能代東支店 TEL.0185-58-2116
酒田支店 TEL.0234-75-3370

原点復帰、基本に戻って

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL : <http://www.k-chiyoda.jp>

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

■従業員様の再就職や出向を無料で支援します

- 人材を必要としている企業の皆様へ ⇒ 即戦力の人材を紹介します
- 雇用調整を検討している企業の皆様へ
⇒ 従業員様の再就職・出向を全国ネットでサポートします

■高年齢者の就業を支援します [キャリア人材バンク]

- 能力・経験を生かし、66歳以降も働くことを希望する方へ
⇒ 再就職をサポートします
- 年齢より能力を重視する企業の皆様へ
⇒ 経験豊富で仕事ができる方を紹介します



公益財団法人 産業雇用安定センター

秋田事務所 〒010-0951 秋田県秋田市山王3丁目1-7 東カン秋田ビル4階
TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

★経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された、30年の実績がある公益法人です

★47都道府県の事務所が全国ネットで皆様を支援します ★ご利用はすべて無料です